すくわくプログラム実施計画

テーマ

汗をたくさんかいて遊ぶこどもたちはとても美味しそうに水を飲み、水道から流れる水に手をかざしてじっと流れを見ている。
そんな姿に「水と子ども」をテーマに、水を意識する活動を計画した。

活動①　水で遊ぼう

バケツの水で遊ぼう（聞こえる音を声にしてみる）
水を流そう(物の上、そのまま地面に、砂場に、坂から)

環境をデザイン

〇準備した物
バケツ　プラケース　カップ　紙　タオル
枝や石などの自然物　ジョウロ

探究活動を実践

〇活動内容：園庭活動の時間、バケツを砂場の側に置いておく。気温が高くカップに水を汲んでバケツに入れる姿が見え始める。ジョウロを出して土に水を撒くと「やりたい」と言ってくる子どもが多い。土に浸み込む様子を見て〇や△を描いて見せると、自分たちでも描いて楽しんでいた。
〇子どもたちの様子：バケツやカップで水を汲んで砂場の穴に水を溜め始めた。「まだたまらない」「たりないからもっとくんできて」「土の中にはいっちゃうんだよ」言いながら穴から道筋を掘って「川をつくる」「流れない」「水が足りないんだよ」「上から流す？」「山も作ろう」と活動が広がっていった。

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容		時間／回	人数／回	実施月
①	水で遊ぼう	20 分	7～8 人　２回	８月
②	人の体と水	15 分	7～8 人　３回	８月
③	植物と水	15 分	7～8 人　２回	９月
④	鳥・昆虫・魚と水	20 分	7～8 人　２回	１０月
⑤	昭島の水	15 分	7～8 人　４回	１２月
⑥	川の水	15 分	7～8 人　３回	２月

振り返りをふまえた気づき

陽射しが強かった日向の水あとはすぐんい消えた。陽射しや気温にも着目できるような関わりも出来れば良かった。砂場が狭い為水を溜める穴は掘れても山や川を作って遊びをこむのは難しかったかもしれない。園庭の広い部分にバケツを用意したり、ホースから直接水を流すような工夫をすれば良かった。子どもたちが大勢いる中で、水の音に着目するのは難しかったので室内やテラスで時間帯を考えて取り組みたい。
・

すくわくプログラム実施計画

テーマ

汗をたくさんかいて遊ぶこどもたちはとても美味しそうに水を飲み、水道から流れる水に手をかざしてじっと流れを見ている。
そんな姿に「水と子ども」をテーマに、水を意識する活動を計画した。

活動②　人の体と水の関係

水筒の水はどの位入るのか、いつぐらいに空っぽになるのか調べてみる。
体から出ていく水分はどんな形で出ていくのか話し合って発表する。

環境をデザイン

〇準備した物
各自の水筒、コップ、計量カップ、計量スプーン
図鑑、iPad

探究活動を実践

〇活動内容：各自の水筒の量が書かれているのを見て、水を計量しペットボトルに入れ、量が見てわかるようにする。体から出る水分の種類を話し合う。
〇子どもたちの様子：体から出る水分の種類について、グループで話し合うと「汗」「おしっこ」「えーやだ」「よだれ」「はなみず」「きたなーい」等ふざけながらも会話は途切れる事無く、話し合いが出来た。iPad で調べてみると、息や何もしなくても水分は出ていくことを知り「水分補給してくる」とその場ですぐに飲む姿が見られた。

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容		時間／回	人数／回	実施月
①	水で遊ぼう	20 分	7～8 人　２回	８月
②	人の体と水	15 分	7～8 人　３回	８月
③	植物と水	15 分	7～8 人　２回	９月
④	鳥・昆虫・魚と水	20 分	7～8 人　２回	１０月
⑤	昭島の水	15 分	7～8 人　４回	１２月
⑥	川の水	15 分	7～8 人　３回	２月

振り返りをふまえた気づき

日頃からこまめに水分補給をとるように伝えてはいるが、最近は水の飲めない子どももいて目安がわかりにくかったが、透明ペットボトルに入れることで目視が出来、iPad を使うことで、確実に体から出る種類がわかりやすい。図鑑等で調べる作業も行ってはいるが興味を持続させる為にはスピード感も大切な要素ではないかと思う。

すくわくプログラム実施計画３

テーマ

汗をたくさんかいて遊ぶこどもたちはとても美味しそうに水を飲み、水道から流れる水に手をかざしてじっと流れを見ている。
そんな姿に「水と子ども」をテーマに、水を意識する活動を計画した。

活動③　植物と水の役割を知る

畑の野菜を育てる中で枯れてしまった部分と緑の葉っぱとを比べてみる。

環境をデザイン

〇準備した物

畑の苗

ジョウロ

探究活動を実践

〇活動内容：畑の苗の枯れた葉、しおれた葉を手にとって観察する。元気の良い葉と比べる。
水はどのように苗に作用しているのか考えて発表する。
〇子どもたちの様子：枯れた葉を手でクシャクシャにしてみると「きたないね」「カサカサしてる」「茶色だね」「ごみみたいだね」と良い印象ではない様子があった。反対に緑の葉を触って「カサカサしてないね」「ちょっと潰してみていい？」「ぐちょっとするね」「水みたいのがでてきてる」「水かな」「水でできてるんだ」等、葉を切ったり、つぶしたりしながら感触を楽しんでいた。

・

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容		時間／回	人数／回	実施月
①	水で遊ぼう	20 分	7～8 人　２回	８月
②	人の体と水	15 分	7～8 人　３回	８月
③	植物と水	15 分	7～8 人　２回	９月
④	鳥・昆虫・魚と水	20 分	7～8 人　２回	１０月
⑤	昭島の水	15 分	7～8 人　４回	１２月
⑥	川の水	15 分	7～8 人　３回	２月

振り返りをふまえた気づき

葉が水出来ているといった発想は興味深かった。テラスで水耕栽培をしているトマトは水だけで育っていることに気がつき、見に行く姿もあった。植物を育てている時には生長する部分に目がいくが、水や土の部分にはあまり目がいかないのだなと感じた。水がなかったら葉がカサカサになることにも興味を示し、水の大切さを感覚で理解しているような印象を受けた。

すくわくプログラム実施計画４

テーマ

汗をたくさんかいて遊ぶこどもたちはとても美味しそうに水を飲み、水道から流れる水に手をかざしてじっと流れを見ている。
そんな姿に「水と子ども」をテーマに、水を意識する活動を計画した。

活動④

鳥、昆虫、魚にとって水はどんな存在なのか興味をもつ。
海の水と川の水の違いに気がつく。
タッチングプールで海の生き物に触れる。

環境をデザイン

〇準備した物
タッチングプールの生き物

探究活動を実践

〇活動内容
海の生き物にはどんなものがいるか見て触って名前を知る。
海の生き物と川の生き物は違うことに気がつき、不思議に思い調べてみようとする。
〇子どもたちの様子
・海の生き物を見て、玉川上水で見たことある？と聞くと、「ない」「海にいるんだよ」「前に海に行ったとき貝をみつけたよ」「このさかなさめ？」などの声が返ってきた。「なんで玉川上水にはいないのかな」と聞くと「川は海と違うよね」「海はしょっぱいよ」「玉川上水には大きい魚がいた」「これとはちがうみたい」等自分の経験お交えての会話が増えた

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容		時間／回	人数／回	実施月
①	水で遊ぼう	20 分	7～8 人　２回	８月
②	人の体と水	15 分	7～8 人　３回	８月
③	植物と水	15 分	7～8 人　２回	９月
④	鳥・昆虫・魚と水	20 分	7～8 人　２回	１０月
⑤	昭島の水	15 分	7～8 人　４回	１２月
⑥	川の水	15 分	7～8 人　３回	２月

振り返りをふまえた気づき

〇海の生き物に触れたことで、海の水はしゅっぱいと自分の経験を思い出し会話に広がりを見せてくれた子どもがいたので、海と川の違いを皆で話し合う良いきっかけになった。何も経験値のないこども同士の場合、話しが進まない時には保育士が仲介しないとならないが話し合いの様子を観察しながら介入しすぎないように注意した。川の生き物を目で見る機会があればよいのだが、家庭の経験に頼らざる得ない面もある。

すくわくプログラム実施計画５

テーマ

汗をたくさんかいて遊ぶこどもたちはとても美味しそうに水を飲み、水道から流れる水に手をかざしてじっと流れを見ている。
そんな姿に「水と子ども」をテーマに、水を意識する活動を計画した。

活動⑤

昭島の水を飲んで考える。
深層地下水とは何だろう。
パンフレットや iPad を使って調べる。

環境をデザイン

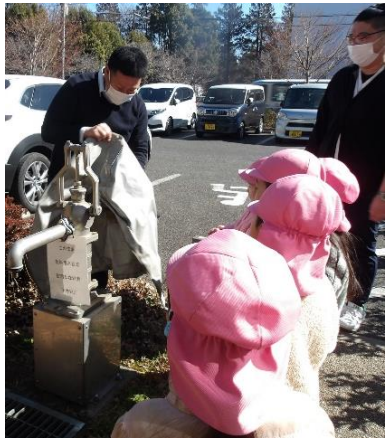
〇準備した物
昭島の水のペットボトル　紙コップ
水道局のパンフレット　iPad　制作用素材　のり　はさみ

探究活動を実践

〇活動内容
ペットボトルの水を紙コップに入れて飲む。水道の水を飲んで飲み比べをする。どちらも同じであることがわかる。
他の町とは違うことを伝えパンフレットや iPad で理由を調べてみる。
〇子どもたちの様子
水道局でプレゼントされたペットボトルを示すと「保育まつりでももらった」「ちかっぱ」「あきしまの水はおいしいんだよ」「ねー」と大人のような会話が広がった。井戸に話しを広げると興味を持ち、実際にガチャポンプを触らせてもらうとどうして水がでてくるか不思議に思う子と蛇口をひねるのと同じように不思議に思わない子とに分かれた。

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容		時間／回	人数／回	実施月
①	水で遊ぼう	20 分	7～8 人　２回	８月
②	人の体と水	15 分	7～8 人　３回	８月
③	植物と水	15 分	7～8 人　２回	９月
④	鳥・昆虫・魚と水	20 分	7～8 人　２回	１０月
⑤	昭島の水	15 分	7～8 人　４回	１２月
⑥	川の水	15 分	7～8 人　３回	２月



振り返りをふまえた気づき

〇「昭島の水」はどこでも耳にするワードの為、子どもたちにも身近なワードになっている。井戸から水を汲み上げるガチャポンプを経験することで、パンフレットの自然の循環に結びつけたかったが、なかなかすぐには手ごたえが感じられなかった。自園での井戸掘りを観察することで地下水が理解でき、自然の循環に興味が広がっていくことを期待して、活動を継続していきたい。

すくわくプログラム実施計画６

テーマ

汗をたくさんかいて遊ぶこどもたちはとても美味しそうに水を飲み、水道から流れる水に手をかざしてじっと流れを見ている。
そんな姿に「水と子ども」をテーマに、水を意識する活動を計画した。

活動⑥

玉川上水を見に行く。
流れかたを見る。生き物を確認する。地下に潜って見えなくなるトンネルの部分を歩いて音お探す。水音の違いを聞き分ける。どこまでながれるのか考える。

環境をデザイン

〇準備した物
散歩用のビブス　帽子　個々のバックに水筒　救急バック

探究活動を実践

〇活動内容
玉川上水を見に行こうと計画を立てる。子どもたちにも散歩のねらいを伝えて興味関心を広げる。
〇子どもたちの様子
玉川上水は登降園で通る園児が多い為、四季を通して目にしているが散歩になると又違った関心が広がり、じっくりと観察しようとする姿が見られた。「おおきい魚はもっとあっちにいるんだよ」「蛍を見にきたことある」「あっちから流れてくるよ」「とりがいる」「あひるかな」等、気づきや疑問を互いに声に出しながら流れにも注目していた。

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容		時間／回	人数／回	実施月
①	水で遊ぼう	20 分	7～8 人　２回	８月
②	人の体と水	15 分	7～8 人　３回	８月
③	植物と水	15 分	7～8 人　２回	９月
④	鳥・昆虫・魚と水	20 分	7～8 人　２回	１０月
⑤	昭島の水	15 分	7～8 人　４回	１２月
⑥	川の水	15 分	7～8 人　３回	２月

振り返りをふまえた気づき

〇昭島の水を調べた際に、山に雨が降り地面に染み渡り地下水になるといったところを学習してドキュメンテーションにまとめた印象が残っているので、海につながっているんだよねという言葉も子どもたちから自発的に出てきた。生息する魚や鳥などはっきり確認出来ない為、双眼鏡などを用意して四季折々観察しながら、より玉川上水に親しみ自然の循環を大切にしようとする意識を育てていきたい
・